

### 令和五年 藤樹賞の受賞者に

(故) 松下亀太郎氏  
松下 芳子氏

去る六月十日(日)に安曇川公民館で開催された令和五年度定時総会に合わせ、令和五年藤樹賞の授賞式が行われました。

総会議案の審議終了後、表彰委員会委員長の今城克啓常務理事から、受賞者の発表と表彰理由の説明がありました。(その内容は左記の通りです。)その後、田中会長から松下芳子様には表彰状と記念品を授与されました。



(故) 松下亀太郎氏の写真  
(湖西中学校校長室)



受賞された松下芳子氏

#### ■高島藤樹会の理念

「温かくて深い、近江聖人中江藤樹の「孝」の思想を高島から全滋賀へ、全国へ、全世界へ広める」

#### ■藤樹賞の理念

藤樹先生の生き方や考え方に共感し、それを広めようという志を持って活動されている団体や個人の方を表彰する

#### ■表彰者

(故) 松下亀太郎様、松下芳子様

#### ■表彰理由

(故) 松下亀太郎様は青柳小学校長としてご在任中、藤樹先生の思想や学問をどう教育の場に活かせばいいのかについて研究と実践を深められ、小学生の読み物として「藤樹先生」と題した副読本を刊行されました。

現役の教員を退かれてからは一層藤樹先生の研究に専念され、ついに一九八一年に名著『物語中江藤樹』を著されました。

この名著は、史実を忠実に再現しながら大胆に人物を蘇らせており、歴史と文学を両立させた誰にでも親しめる優れた藤樹読本であります。さらに、八十六歳になられた二〇〇六年には、これまであまりスポーツが当たっていなかった私塾藤樹書院と大溝藩の関係や、幕末や大政奉還後の藤樹書院にまつわる歴史上の人物などを分かりやすくまとめた

「中江藤樹と大溝藩」を自費出版されました。

このように(故)松下亀太郎様は、生涯藤樹先生を敬慕し、藤樹先生の人と思想を研究し続け、優れた著作を重ねられてこられました。

松下芳子様におかれましては、(故)松下亀太郎様の研究や実践を永年支えられ大きな役割を果たされてきました。そして、ご自宅で保存されていきました中江藤樹関係の書籍数十冊を、昨年中江藤樹記念館等に寄贈されました。

多くの貴重な書籍は、藤樹先生の生き方や考え方のこれからの普及啓発に欠かせないものがあります。

このようなことから、(故)松下亀太郎様と松下芳子様は藤樹先生の生き方や考え方を広められた功績は多大なものがあると考えております。

このたび、藤樹賞の理念である「藤樹先生の生き方や考え方に共感し、それを広めようという志をもって活動されている団体や個人の方」として、永年のご活動に高島藤樹会として深く感謝を申し上げ、表彰をさせていただきます。

(表彰委員会)

### 藤樹先生

#### あれこれ

#### 「常省祭」が開催される

藤樹書院(公益財団法人)主催の「常省祭」が、四十六名の出席者のもと七月二十三日に藤樹書院において開催されました。

渕田豊朗理事長の開会のことばに続き、御神酒を捧げる初献を渕田理事長、巫献を中川義人高島市副市長、終献を高木広和高島市議会議長がなされました。次に、出席者全員による焼香を行った後、川島浩之高島市教育長の先導



によって「孝経」が拝誦され、祭典が閉じられました。今回、書院所蔵物で紹介(展示)された資料は、常省先生直筆の

『江西小川講堂之會約』(常省先生が一六八一年に、藤樹書院で学ぶ人たちが守るべき約束として書かれたもの)でした。

引き続き、併設の良知館に場を移して、藤樹神社宮司の中村敏夫氏による『宮司就任に当たっての想い』のご講演を拝聴しました。

